

エンカウンター (ENCOUNTER)

第279号

2025年8月1日

編集・発行人 〒224-0015 横浜市都筑区牛久保西 2-14-28

山口周三

電話 080-1232-0905

<http://encounter.agape.wjg.jp>

小西芳之助導源「ピリピ書・コロサイ書講解説教」より

(1)

喜びが人にも及ぶ

私は皆さんを教えるためにここで講義し、また勉強するのではありません。私自身がパウロ先生の本文をよく理解させていただいて、イエス・キリストの救い、贖いの広さ、深さを知りたいためであります。ひとえに私自身がパウロ先生の味わわれたイエス・キリストの贖いの広さ、深さ、長さを少しく学びたいと思うのであります。

これは私の私事ではありません。私自身が理解できました程度において、その喜びが他人にも移る。人間というものは不思議でありまして、私が本当にその恵みが分かりましたら、それが他人に移る。私

はいつもそう思います。たびたび同じことを申し上げますけれども、自分が福音の深さに触れました時に、無限の喜びが自分に沸いた時に、この喜びがまた人にも及ぶのだ、他の人もこれを味わうのだと思うと、喜びが湧いてくる。そうですから、福音の伝道は人にするものでなくして、自分にすべき性質のものであります。

ピリピ書を学ぶに当たっての希望

19世紀の英国にグラッドストーン（1809－1898）という大宰相がおられました。今では英国はちょっと影が薄いですが、グラッドストーンが宰相をやっていた19世紀には世界を圧した国でした。いつも同じ話になりますが、お許し願いたい。そのグラッドストーン大宰相が80歳で総理を辞めてから、イプセンを読むために北欧語を勉強し出したそうです。日本の大外務大臣であった陸奥宗光氏が英国へ行かれた時に、グラッドストーンにお会いになって、その風貌、その信仰、その人格にうたれて、「キリスト教の信仰というのはすごいものだ」と感心したという記事が残っているようであります。

そのグラッドストーンが晩年に監督バトラーの書いた『アナロジー』という本を編纂した。そしてグラッドストーン曰く、「私が生涯において仕事らしい仕事をしたにはこれだ」。その『アナロジー』というバトラーの本は、来世存在の哲学的意義を明らかにした説教をした。そうですから、この言によって、いかにグラッドストーンが来世の存在の意義を認めていたかが分かる。

このごろの人は、永遠の生命とか、来世とか、天国と言えば、これは学問のない婦女子がやることのように思っておりますけれども、

ノー。人生の生きる力の源泉は来世にある。人類数千年の歴史は、このことを証明している。…

この頃の若い人は、少しく自分に知恵あり、力ありとって自慢していますけれども、むしろ知力は下がっている。段々年が経つにしたがって知的な能力は低下していますよ。そういう自分の低い知恵を振り回して、先人の高い深い知恵に対して尊敬を持たない。ちっとも進歩しない。この頃の学者は、自分が救われざるのみならず、人の救いを邪魔しているのです。われわれは、法然上人のお言葉を実に襟を正して聞く必要がある。

ピリピ書大観

ピリピ書は4章からなっており、大体二つの部分に分けられます。一つは、ピリピから受けた贈り物、賜物に対するお礼です。ありがたいという感謝の部分。それから第2の部分、偽教師に対する警戒です。本当の信仰を守れという、正しい信仰を宣べ伝えている場所があります。この二つがピリピ書の内容です。

これはパウロの最後の手紙と言ってもよい。彼が第2回の伝道旅行でピリピに教会ができてから10年も経っていると言われていますが、パウロがいよいよ殉教の死を前にして書いた最後の手紙でありまして、実にパウロの信仰の内容が躍如として表れている。彼の信仰からくる喜びの味わい方が如実に出ております。これはコリント後書と共に、パウロの内面を表した書簡と言われております。

信者の自慢

信者はどこでもそうですけれど、ピリピの信者も自分が信者であると思って自慢している。そうですよ、大体信者というものは自慢している。自分は信仰があると思っている。これだから信者は何年経っても、何十年たっても進歩しない。「俺は信者だ」と思っているから、信者は進歩しませんよ。自分の信仰を振り回しているだけです。そんなものは駄目です。学ぶという精神がない。学んでも「自分が」学んでやっている。そんなことでは真理はわからない。そうですから、これは「お前らは謙遜の精神が足りない」と、ピリピの信者に言っているのですよ。

真理というものは難しい。何遍も言いますけれども、イエス・キリストご自身に 3 年間学んだペテロ、ヨハネが全然分かっていない。イエスが殺された時、それがはっきりした。また、半年もパウロ自身が朝な夕なに教えたコリント教会でも、パウロが去ってしまったら、がたがたがたがたやっている。真理はいかに難しいかということが分かる。福音の真理はそう易々と入らない。忍耐をもって学ぶ必要がある。

「パウロとテモテから」と二人の名前が書いてありますが、これは

イエスが伝道を命ずるときに二人一組になさいましたから、二人の名前を書いた。二人がこれを書くのだ、この伝導は正しいのだということを示すためです。テモテの光栄を思う。テモテは人類の教師というパウロと同列に書いてもらえた。われわれもそうですよ。無学、無徳の身を以って、パウロ先生と同格です。

恵みと平安

「私たちの父なる神とイエス・キリストから、恵みと平安があなたがたにあるように」。「恵みと平安とがあなた方にあるように」というのは、ユダヤ人とギリシア人の挨拶、手紙の挨拶にこの字を使う。「恵み」はユダヤ人が、「平安」はギリシア人が使うのでしょうか。そうですから当時の形式に従った。

しかし、これは単に形式に従っただけではありません。贖いの恵みとそれから来る平安、それが福音です。恵みは福音の内容ですし、平安は福音から来ますから、「恵みと平安とがあなた方にあるように」という言葉に、パウロは深く福音の恵みと平安があるようにという意味を含ませたに違いありません。イエス・キリストの恵みが最後にはっきり出てくる。

この手紙の最後の 4 章 23 節には、「主イエス・キリストの恵み」とある。すなわち、主イエス・キリストの恵みとは贖いですから、この贖いの恵みがあなた方にあるようにという。「主イエス・キリストの恵みがあなた方にあるように」と言う願い、この始めと終わりとの言葉が、これから 4 章かけて、4 章のうちに展開されております。

君たちの信・望・愛の理解が深くなるように

本日の第9節「わたしはこう祈る。あなたがたの愛」がいよいよ増し加わるという。キリスト教で「愛」アガペーと言えば、いつも復活の望みと神の子たる信仰とがついている。一緒になっている。だから信・望・愛とパウロは3つで言いますが、それをパウロは単数で受ける。同じものです。3つは一つです。そうですから、今日この「愛が増し加わる」というのは、「君たちの信・望・愛の理解がいよいよ深くなるように」という、これが祈りであります。

そうでありますので、我々のキリスト教理解がだんだん高くなってゆかねばならない。たとえばキリスト教の教えが10の高さとなれば、我々は大体1か2しか分かっていない。そうですから、だんだん2が3になり、3が4になりというように進んでいかなければいけない。ところが2の人は2しか見えない。何遍聞いていても、2しか理解していないから何十年聞いても進歩していない。

一講一講、謙遜に聴く必要がある

なぜ進歩しないかという、「俺は分かっている」という精神があるからです。大体古い信者ほど進歩しません。自分は分かっていると思っているから。イエス・キリストは、「わたしは見えるというから君の罪は残っているのだ」、「わたしは目が見えないといわなければならない」とおっしゃった（ヨハネ伝9章41節）、大体古い信者のほうが進歩しない。むしろ新しい信者が進歩する。謙遜に聴いているからです。

われわれ一講一講、謙遜に聴く必要がある。ちょうど外国語を学ぶとき先生が「it is a dog.」と言ったら、「it is a dog.」と繰り返す。その単純さと誠実さがなければキリスト教は進歩しません。何十年聞いていても同じことです。天国が見えてこない。人間は地上のことばかり考えている。讃美歌を歌っていても、天国の尊さ、力は見えない。blindです。何十年讃美歌を歌っていても声は出しているけれども、その讃美歌の精神が理解できない。教えに対して尊敬がないからです。私はそのことを自分に感ずる。…

信・望・愛、キリストイエスの日

今日のこの挨拶の中には、信・望・愛が3つともガチっと出てきている。特に「キリスト・イエスの日」という字が2回出てきている。われわれの復活する日、キリスト来給う日、これが2回出てきていますよ。復活を論ぜずして、キリスト・イエスの日を論ぜずして、キリスト教はない。

われわれは省みて、己に勝つ力がない。自分はキリスト教を分かっていると思い、口で言っておりますけれども、我々は己に勝つ力がない。我々感謝の心がない、平安がない。これはキリスト教を理解していないというもっともよい証拠です

われわれは少しくキリスト教を理解したならば、己に勝つ力が神から与えられる。かつまた感謝ならびに平安の心が与えられる。これが全然ないというのでは、キリスト教はないですよ。考える必要がある。自分は信者であるという看板を下ろす必要がある。特に古い信者においてその危険がある。私は信仰を学んで60年、福音を述べて30年、いよいよ自分に信仰のないことが、はっきりしてきた。君たちもぼんやりと信仰を分かっていると思っていたら駄目ですよ。ABCから叩き直す必要がありますよ。